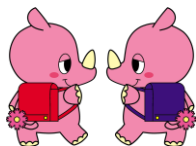


原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和4年
10月7日(金)
印西市立原小学校
校長室便り
〈第6号〉



令和4年度も今日で前期が終了し、来週から後期に入ることになります。本日は前期の通知表をお配りいたしました。前半の学習、活動をしっかりと振り返り、後半も充実した学校生活を送れるよう、全職員で力を合わせていきたいと思ひます。

一昨年度より通知表が変わっております。改めてその見方について説明いたします。

育成を目指す資質・能力の要素を以下の「三つの柱」で整理されました。

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| ①知識・技能 | (何を理解しているか 何ができるか) |
| ②思考力・判断力・表現力等 | (理解していること、できることをどう使うか) |
| ③学びに向かう力 人間性等 | (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか) |

そこで、各教科の評価の主な観点もこの「三つの柱」からなっています。これは印西市でほぼ統一された文言になっています。やや抽象的でわかりにくい表現になっていますが、

- ① 知識や技能を身に付けることができたか
- ② 身に付けた知識や技能を使って思考・判断・表現できたか
- ③ 学んだことを学習や生活に生かすことができたか (生かそうとしたか)



と、とらえていただければと思ひます。「十分できた」が◎、「できた」が○、「やや不十分」が△ということになります。また、教科以外の学習や行動、特別活動、そして総合所見については、特に頑張ったことについて記載しています。

通知表は、学校での活動(学習や行動など)を振り返り、○○について更に頑張ろうという意欲に繋がってくれることを期待するものです。お子さんの頑張りを褒めてください。そして、更にやる気を引き出していきたいと思ひます。



なぜ、勉強するのか？

以下は、先日の全校集会で私が児童に伝えた話です。

一つ問題です。「一体、私たちは、なぜ、勉強するのでしょうか?」、校長先生は、こう考えます。

皆さんの家には、洋服ダンスがあると思ひます。勉強することは、色々な洋服をたくさん仕入れて洋服ダンスに蓄えておくことだと思ひます。夏用・冬用の服、スポーツ用・お出かけ用の服などが洋服ダンスにあると、必要に応じて、いつでもその洋服をダンスから取り出して着ることができます。時と場に合った様々な種類の洋服がダンスにあると、いざという時、役に立ちます。勉強もこれと同じで、国語や算数、音楽や体育などで学習したことはもちろんですが、学校生活で学んだこと全てが、将来の自分にとって必ず役に立ちます。自分が～したい、～になりたいという時、必要な引き出しから学んだこと、身に付けたことを取り出して使えば良いのです。

これは、あくまでも校長先生の考えです。その答えは、いくつもあって、変わっても良いと思ひます。そして、今、その答えがわからなくても、いつか分かる時がくると思ひます。